

精華町教育委員会議事録

平成29年（第10回）

1 開 会 平成29年10月27日(金) 午後3時00分
閉 会 平成29年10月27日(金) 午後4時30分

2 出席委員 太田教育長 中谷委員 松本委員
新司委員 岡島委員

3 欠席委員 なし

4 出席事務局職員

岩崎教育部長 北澤総括指導主事
竹島学校教育課長 仲村生涯学習課長
山崎学校教育課主幹

5 傍聴者 なし

6 議事の概要

(1) 開会

教育長から第10回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回議事録について

教育部長から平成29年第9回教育委員会の議事録について説明。

【採 決】

・全員承認

(3) 教育長報告事項

各学校を委員の皆様にご訪問いただき、実情について御理解いただけたかと思う。その中で教員の勤務実態の改善についても、話をさせていただいた。後ほど教育委員会で調べた一月間の教職員の出退勤の状況のデータを報告させていただきます。皆様の御意見をいただければと思っている。

(4) 議決事項

議案第13号 精華町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則一部改正
について

教 育 部 長 【提案説明】

町立中学校の学期制を、2学期制から3学期制へ変更にする
ことにあたって、授業時数を確保する必要があることから、学
期の期間と夏季休業期間を見直すもの。

なお、この規則は平成30年4月1日から施行するとしてい
る。

中 谷 委 員 中学校の2学期開始は8月27日と早くなるが、小学校は空
調設備が整うまで現状どおり9月1日からだと思ふ。その差に
ついて小学校の保護者へも周知は必要だと思ふが、いつごろに
なるか。

学校教育課長 中学校が3学期制に変わることは、1学期にも一部の中学校
で周知されている。また、9月の校長会で、中学校が来年度か
ら3学期制に変更する旨の指示を改めてしている。しかし、学
期や夏季休業期間の日程については、この規則が決定された以
降において、保護者の方に周知していくことになる。空調整備
の教育環境が整うまでの間は、小学校と中学校で、ずれが生じ
るということは、丁寧に周知していきたい。

(採決 ー 全員挙手により原案どおり決定)

(5) 事務局からの諸報告

教 育 部 長 1 平成30年度予算編成方針について

来年度の予算編成方針が示されたので、その内容について
説明させていただく。税収が伸び、歳入の状況は、ある程度
の改善が見られるものの、扶助費の伸びで非常に財政的に厳
しい状況にあるというのが、まず大前提にある。

国の動向としては、「地方の安定的な財政運営に必要とな
る一般財源の総額について、平成30年度までにおいて、平
成27年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同
水準を確保する」との方針を示している。一方で、経済財政

諮問会議では地方全体の基金残高の増加などを問題視されており、骨太の2015の方針が堅持されるかの見通しについては不透明である。

町税収入について平成28年度まではほぼ右肩上がりであるが、29年度では減少している。精華町においては、この間、企業誘致による法人税が伸び、今後も伸びる可能性は高いと予想されるが、一方で、税収が増えると交付税が減少することと併せて、先ほど述べた地方の財政計画の中での見直しなどが行われると非常に厳しい状況となる。それを裏づけるのが、経常収支比率で、平成28年度の経常収支比率が98.1%、27年度が92%となっている。

そうした中で、来年度は135億円程度の予算規模を見込んでおり、当然この中には教育関連経費も含んでいる。小学校の空調設備についても、何としても国の補助金の確保ということで町長、教育長に御努力、御尽力いただいている。この間の国政選挙によって引き続き現政権ということになったので、補正予算が実現されれば昨年と同じく財源確保できる可能性が出てくるわけだが、まだまだ流動的である。今後の小学校の空調設備、あるいはその後に引き続いての中学校給食といった大型事業を予定しており、教育予算についてはしばらく増加の一方という状況になる。

教育部長 2 教職員勤務実態調査の集計結果と分析について

超過勤務の実態調査の期間は、平成29年6月19日から平成29年7月20日までで、対象は214人の先生方になる。小学校は133人、中学校は81人で、全体平均は、90.9時間という、非常に多い時間数になっている。

内容については、教材研究も当然だが、中学校では部活動のない教員に対し、体育系、文化系の部活動を持つ教員が多いなどの実態であり、時間外の削減、教職員の負担軽減についての手だての1つとして、出退勤管理のシステムの導入を30年度の予算要求に計上をしたいと考えている。

総括指導主事 1 部活動の休業日設定について

京都府教育委員会から各市町村、所属長、府立学校長宛てに文書が発出されている。これは、生徒のバランスのとれた生活や成長を考慮し、土日を含む週2日以上で休業日を設定するというもの。

それを受けて、本町教育委員会から各小中学校に教職員の働き方改革と、児童・生徒のバランスのとれた生活、成長等を考慮して、土日を含む週2以上の休養日の設定を原則とする内容で各学校に通知した。11月1日から試行とし、各学校長から意見を聞きながら、4月1日から本格実施を予定している。学校規模等によって、例えば体育館の使用の分担であるとか、一概に難しい部分もあるので、この試行を踏まえて進めて行きたい。

総括指導主事 2 生徒指導報告について

(1) 小学校

問題事象は無し。不登校11名。夏休み明けというのは子どもたちにとって生活習慣が大きく変わる時期で非常に大変な部分であるが7月と9月を比較すると横ばいであった。

(2) 中学校

問題事象は5件。不登校19名。不登校の子どもが夏休み明けに偏った学校で増加している。注意深く見守り、学校を中心に組織的に対応している。

総括指導主事 3 全国学力・学習状況調査の結果について

12月、1月、2月の3回にわたって広報「華創」とホームページに掲載していく予定。得点率や比較がグラフから読み取れるようになっている。また、小中学生とも質問紙調査を行っているので、その内容を6つのカテゴリーで分析している。特に特徴的なものとして、「将来、海外へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思いますか。」という

質問に対して肯定的に答えた生徒が、町内では非常に多かったため、取り上げてグラフ化した。その他、それぞれの様子について精華町と全国とを比較した形で棒グラフにしている。

総括指導主事 4 山城地方中学校駅伝大会の結果について

10月14日に高山ダムで行われた。女子は精華南中学校が39チーム中上位16位に入り、健闘してくれた。精華西中学校と精華中学校、並んで23位、24位という結果だった。

男子は7位に精華中学校が入った。6位までは京都府大会に出られるということで、子どもたちは非常に悔しい思いをしたけれども43チーム中、7位で大健闘だと思う。精華西中学校、精華南中学校も23位と39位で、それぞれ健闘してくれた。

学校教育課長 1 精華町小・中学校文化交流会について

11月7日に、けいはんなホールで、第20回目の精華町小・中学校文化交流会を実施する。各小学校については合唱と合奏、精北小学校については伝統の大正琴等の発表が予定されている。中学校は合唱、そして精華西中学校の吹奏楽の演奏を予定している。

生涯学習課長 1 優良読書グループの表彰について

図書館のボランティアグループ「おはなしのこぼこ」が今回、公益社団法人の読書推進運動協議会2017年度・第50回優良読書グループとして表彰された。平成14年3月から活動されている団体だが、当初は図書館でストーリーテリング講座を開催して、そこに参加していただいた方からボランティアグループとして発足したもの。現在は定期的に月1回活動されているほか、子育て支援センターや小学校、保育所、幼稚園でのおはなし会、あるいは地域での活動等に幅広く参加されていることが今回の評価につながった。このグループは、平成26

年に京都府の図書館連絡協議会の功労者としても表彰されており、さらにその活動が全国でも表彰された。

生涯学習課長 2 子ども祭りについて

10月21日に開催した。台風の影響による雨の中、予想されていたよりも多い1,300名の参加があった。うち児童・生徒以下の未就学児を含めた数が650名ということで、当日、外の施設で予定していた消防の体験など若干中止になったが、フリーマーケットやアリーナでの体験コーナーについては盛大に開催された。次年度に向けての反省会が近々開催されるが、そのあり方と内容等も含めて議論した上で今後について検討していく。

【委員の意見等】

松本委員 子ども祭りを見させてもらった。大変盛況で、生涯学習課の方をはじめ、ボランティアの方が非常に熱心に活動されていた。こういった取り組みが本当に大事だと、うれしく思った。

駅伝大会では精華中学校の男子が7位と、トップ10に入っており立派。精華南中学校の女子も生徒数が少ない中で非常によく頑張ってくれている。

太田教育長 子ども祭りについてはいろいろと議論があるが、参加していただいた委員さんは、実際見ていただいて、どうだったか。

新司委員 精華西中学校の吹奏楽部の最初のオープニングは、校長先生が横に来て誇らし気に解説しておられた。1年生と2年生の演奏だったが、3年生がいない中、すばらしいなと感心した。何よりも、皆さんが静かに演奏を聞いてくださっていたのはよかったと思う。私は学び・体験ゾーンでボランティアをさせていただいた。親子で雨の中を来てくださり、親御さんや未就園児と一緒にカミコプターを飛ばして遊んだ。親子の触れ合いも見せてもらえたし、地域の人とのつながりも見せてもらえて、参加できてよかった。

太田教育長 勤務状況の問題は、学校を実際に回っていただき、状況を聞

いていただいた。その際に感じられたことを、ここで出して
いただきたい。この件については、総合教育会議を年末に持
つ予定にしておき、教育委員会の意見をまとめて、町長に話
をしていきたいと思っている。

松本委員

中学校の超過勤務が非常に多い。京都府教育委員会や町でも
通知を出したということであり、休養日を設けることについて
は賛成。保護者の方への丁寧な説明と併せて、実施に当たって
は、学校独自の特徴もあるかと思うので、いきなり一斉にはい
かないだろうが、試行期間に課題整理して本実施へと進めてほ
しい。

学校訪問では校長先生を中心に話を聞かせてもらったが、ど
こもやはり工夫した取り組みがなされていた。地域性や保護者
の方との関係もあり、各校とも特性があるので、校長会議等で
交流して英知を集められるような機会を持たれたら、より深み
のある取り組みとなるのではないか。特徴のある取り組みで、
よくこれだけ考えられたなと感心したことが多かった。ぜひそ
のいいところ取りをするという意味も含めて交流されるのが良い
と感じた。

中谷委員

働き方改革とあわせて学校を見させてもらって、ちょうどい
い機会だと思った。というのは、どうしても仕事の量というか、
仕事を増やせば教育的な効果が上がると考えがちになる。日本
人は心配性という特性もあるのか、つい時間オーバーしてしま
い22時、23時になってしまうということを知った。働き方
改革の中で働く時間を短く、効率をよくして、教育的な効果を
最大限伸ばすことは、矛盾していないと思う。そのためにどの
ように学校の中で工夫していくのかというところで、先ほど松
本委員もおっしゃったように、交流はとても大事になる。

学力の充実向上という面では教材づくりに時間がかかる。校
長先生も、教材づくりをしているから早く帰れとは言いき
いとおっしゃっておられた。思い切って時間を短縮して、い
かに早く切り上げるかというのは、学校の課題でもあり、一
番学校が工夫しやすい点ではないかと思う。解決の1つとし

て、学校の中でどういうものがあれば、教材として授業に生かせるのか聞いてもらえれば良いと思う。それぞれの学校の先生たちが持っているノウハウを披露することが、その学校の質を上げることになるし、授業の質を高めることにもなる。ひいては時間の短縮にもなり、子どもたちに、より効果的な授業を行うことができると思うので、ノウハウは、学校の中で共有し合うことがとても大事ではないか。それぞれの学校の特色もあり、学校の子どもたちの実態が変わればやり方も変わってくる。いいところ取りをしながら、その学校の特色を生かしてやっていくという工夫が改善にもつながっていく。やはり今、これだけ取り組みをされているので、あとは、どう効果的にやるのかを各学校は本格的に交流し、自分たちの実践により成果を出していくことが問われている。時間を短縮して学習状況や成果が落ちるということはないと思うので、それは進めてほしい。

新 司 委 員

学校によってそれぞれ工夫があり、指導力アップのために先生たち自身で考えておられる。たとえば、朝、子どもたちの登下校に子どもたちから話を聞いていると、算数タイムと言う遊びを通して学力を付けているという話を聞いた。学級担任の先生は様々な場面で工夫をされ、子どもたちの学力を上げるために努力をしておられる。この機会に、いろいろと学校を見させていただき、先生たちには頭が下がる思いでいろいろ聞かせていただいた。

岡 島 委 員

子どもを学校に行かせていて、先生方がすごく熱心に努力されているのは感じていた。授業参観の折に新任の先生方が様々な面で日々成長されていくのを見て、学校がチームとして若手を育てることをしてくださっているおかげで、私たち保護者は、どの先生が担任になっても大丈夫、安心して預けられていると感謝している。

その一方で、長時間仕事されているというのは、体調面でも心配になる。時間を有効に使っていただき、健康にも気をつけながら、この先、子どもたちの幸せのために教育を進め

てほしい。

太田教育長 様々な工夫により学校運営が展開されているということがご理解頂けたと思う。勤務時間の縮減という点から見れば、どうしても今の生活がベースになってしまい、固定観念から抜け切れないという部分もある。そういう意味では、今やっている仕事を、大きな流れの中で見て、これでいいのかという考え方をしてみる必要がある。我々からも情報として提供していく必要がある。

先生方が忙しいことを学校は外部に向かって言うことはなかなか少ない。事務局で議論したいと思うが、先生方の実態を広く知ってもらい、学校の現状について理解をしていただく努力も行政としては必要だと感じている。この問題は引き続いてのテーマになるが、町長に対しても見てもらえた実態についてお話しいただければと思う。

(5) 後援関係

9月から10月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数6件、学校教育課関係は1件、生涯学習課関係が5件、うち社会教育係関係が5件、図書係は0件、社会体育係関係は0件。

(6) 11月の行事予定

(7) 閉会

教育長が第10回教育委員会の閉会を宣言。